

# 伝え方についての事例

## ホームレスを救った「言葉の力」

「I'M BLIND PLEASE HELP」

(私は盲目です。助けてください)

と書いた段ボール紙を空き缶の横に置き、全盲のホームレスは道の隅に座っていた。

通りすぎる人たちは、彼をチラッと見ては通り過ぎていく。  
たまに、ポケットに入っていた小銭を整理するため投げ捨てるように・・・  
「カラン」と音が鳴る。  
目が見えない彼でも、数えられるほどのコインしか入っていないことが分かる。

「コツ、コツ、コツ...」そんな時、ある女性が現れた。  
彼女は、そのホームレスの目の前に立つと、横に置いてある段ボールを手にとった。  
目が見えない彼は、必死に耳をすますと、何やら段ボールに文字を書いているようだ。  
そして、彼女は何も言わずに立ち去っていった。

目が見えない彼は「何かいたずらをされたのか...」嫌な予感がしたが  
そんな不安は、次の瞬間に吹き飛んだ。  
突然、何が何だか分からないが、次から次へと大量のコインが恵まれていく・・・  
どんどん小銭は増えていき、あっという間に、空き缶はコインでいっぱい！

「コツ、コツ、コツ...」また、彼女が戻ってきた。  
ホームレスは感謝の言葉よりも先に思わず「一体、何をしてくれたんですか？」  
っと、叫ぶように問うた。何があったのかを知りたかった。  
すると彼女は、落ち着いた優しい声で

「同じ意味の言葉を書いただけよ。“違う言葉”を使ってね」

さて、アナタはこの話を聞いてどう思いました？  
これは以前にアメリカで話題になったショートムービーの一部。

タイトルは「言葉の力」。言葉を変えるだけで、人々の行動はガラリと変わる。  
ビジネスで成功するのも失敗するのも、言葉の影響は大きい。

お客さんにモノを買ってもらえるのも、買ってもらえないのも、言葉の力。  
ある言葉だとお客さんが集まって、別の言葉だと全く反応がない・・・  
なんて事はよくある話。

つまり「言葉の力」を使い、今よりもお客様を集めたり、今よりも商品を売ったりするのも自分次第。  
ビジネスで成功している人のほとんどは、この「言葉の力」を十分に理解しています。

では、彼女が、盲目のホームレスの人生を救った「たった一言の言葉」  
彼女は段ボールにこんな風に言葉を書き換えた。

それは・・・

「It's a beautiful day and I can't see it」

(今日は素敵な1日。でもそれを、私は見る事が出来ません...)

そのちょっとした「伝え方」の小さな変化が、大きな違いを生むのです。  
「言葉」は時に、人を動かし、人生までも変えられる。